
平成28年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成28年3月11日

質問者（質問順）

- 1 大貫憲夫委員（共産党）
- 2 坂井太委員（自民党）
- 3 源波正保委員（公明党）
- 4 伊藤純一委員（民主党）
- 5 山田桂一郎委員（維新）

財政局

局 別 審 査

1 大 貫 憲 夫 委 員（共産党）

1 平成28年度予算案について

- (1) 28年度予算は身近なインフラ整備よりも大型公共事業に偏重した予算になっていると考えるが、見解を伺いたい。
- (2) 課題解決のために、法人市民税を増やし、その果実をまちづくりや住民福祉に使うという市長の考えは、具体的にどういう形で予算に現れているのか、見解を伺いたい。
- (3) 中期計画に掲げている課題の捉え方と、その解決のためにどう予算配分しているのか、見解を伺いたい。
- (4) 大型開発に投資するより身近なインフラ整備に投資した方が大きな経済波及効果があると考えますが、見解を伺いたい。
- (5) 市税収入を増やすためには市内GDPを引き上げることが重要であり、そのために身近なインフラに資金を投入する方が効果があると考えますが、見解を伺いたい。
- (6) 大型開発と身近なインフラのどちらの方が経済波及効果があると考えているのか、見解を伺いたい。
- (7) 大型開発は大企業、身近な道路などのインフラは中小企業の仕事であり、まちの身近なインフラに資金を投入した方が、経済波及効果があると考えますが、見解を伺いたい。
- (意見) 経済波及効果のある身近なインフラに、もっと資金を投入すべきである。
- (8) 「公共施設管理基本方針」における、「保全費の将来推計」グラフについて伺いたい。
- (9) 横浜環状北西線や新市庁舎の整備を、長いスパンで考えなおし、浮いた予算を保全費に回すべきと考えますが、見解を伺いたい。
- (10) 橋梁の老朽化対策でも想定額と実績額に乖離があり、こうした身近なところ

にお金が回っていないと考えるが、見解を伺いたい。

(11) 乖離を生んだのは、財政局が橋梁関係に対する予算を絞っているからだと考えるが、見解を伺いたい。

(12) 大型公共事業に偏重して、学校の老朽化などの必要なところに回っていない予算を変えるべきと考えるが、見解を伺いたい。

(13) 必要な公共事業はやらなければいけないが、大型公共事業に偏重している予算はバランスが取れていないと考えるが、見解を伺いたい。

(14) 中小企業振興基本条例を通じて課題を解決することが、大きな横浜の仕事起こしにもなり、今後の経済や雇用にとって大きなつながりとなることを認識し、特に経済波及効果を生み出す住宅リフォーム制度は必要だと思うが、見解を伺いたい。

1 平成28年度予算案と財政運営について

- (1) 28年度予算編成の所感について伺いたい。
 - (2) 財政の硬直化が進んでいることについて伺いたい。
 - (3) 財政の硬直化が進む中での今後の財政運営について伺いたい。
 - (4) 健全な財政運営の推進に向けた決意について伺いたい。
- (要望) 事業の点検・評価をしっかりと行い、無駄のない健全な財政運営を支える要の局として、全力で取り組むことを要望する。

2 平成28年度税務費について

- (1) 28年度税務費の主な特徴について伺いたい。
- (2) 税務費に対する基本的な考え方について伺いたい。

3 税務事務におけるマイナンバー対応について

- (1) 本市の税務事務におけるマイナンバーの対応状況について伺いたい。
- (2) マイナンバー制度の導入に伴う税務事務における実務上の課題について伺いたい。
- (3) 制度への対応のための個人市民税における取組について伺いたい。

4 新たな社会的要請に積極的に取り組む事業者に対する入札契約での優遇策について

- (1) 女性活躍に積極的に取り組む事業者への「工事や委託業務等の入札参加者名簿登録時における加点」の具体的内容について伺いたい。
- (2) 「工事入札における総合評価落札方式での加点」の具体的内容について伺いたい。
- (3) 総合評価落札方式において、実際に緊急出動した事業者を評価する項目があるべきと考えるが、見解を伺いたい。

(4) 優遇策により期待される効果について伺いたい。

(要望) 総合評価落札方式による発注件数を増やすことに今後も積極的に取り組むよう要望する。

5 公有財産の戦略的な有効活用について

(1) 民間ノウハウ等を活用した資産活用の推進状況について伺いたい。

(2) 施設の再編整備と連携した資産の有効活用の進め方について伺いたい。

(3) 事業時期未定の土地に関する包括外部監査の意見を踏まえた今後の取組について伺いたい。

(要望) 庁内の旗振り役として、資産に関する情報共有の円滑化に取り組むことを要望する。

3 源 波 正 保 委員（公明党）

1 財政運営について

- (1) 過去3か年の予算編成スタート時における収支不足額の推移について伺いたい。
- (2) 社会保障関連経費の増要因について伺いたい。
- (3) 軽減税率制度の導入を踏まえた、消費税率の10%への引き上げによる地方消費税交付金の増収額について伺いたい。
- (4) 28年度予算における主な財源確保の取組について伺いたい。
- (5) 財政調整基金を活用した年度間調整の実績について伺いたい。
- (6) 効率的・効果的な執行のための工夫について伺いたい。
- (7) 国費・県費などの確保に向けた取組について伺いたい。
- (8) 今後の市債活用の考え方について伺いたい。
- (9) 将来にわたる「施策の推進」と「財政の健全性の維持」の両立に向けた決意について伺いたい。

2 公共施設の保全・更新について

- (1) 「保全・更新計画」策定の進捗状況について伺いたい。
- (2) 公共施設管理基本方針における将来推計額と中期4か年計画における見込額の考え方について伺いたい。
- (3) 中期4か年計画の見込額に対する、保全・更新費の確保の状況について伺いたい。
- (4) 保全・更新の取組をより効果的かつ効率的に進めるために必要な視点について伺いたい。
- (5) 職員一人ひとりがマネジメント意識を共有するための取組について伺いたい。

3 市有地公募売却事業について

- (1) 27年度の売却実績及びここ数年の傾向について伺いたい。

(2) 広報・広告活動の取組について伺いたい。

(3) 区局連携した公益用地の売却の取組について伺いたい。

4 国からの税源移譲について

(1) 国・地方における税の配分状況について伺いたい。

(2) 青本における国・地方間の税源配分の是正に関する要望内容について伺いたい。

(3) 本市として国に税源移譲を求めていく上での決意について伺いたい。

(要望) 将来の横浜の都市像と、都市の発展による将来の税収増を見据えた視点をもって施策を進めつつ、財政の健全性を守りながら財政運営を進めることを要望する。

(意見) 旧上瀬谷通信施設と旧深谷通信所の活用について、全面国有地という特徴を生かし、花博の会場としての検討や、国と協力してインフラ整備を進める視点があってもよいと考える。

4 伊藤純一委員（民主党）

1 財政運営について

- (1) 中期4か年計画における借入金残高の目標に向けて、相当程度進捗してきたことへの所感について伺いたい。
- (2) 29年度末の借入金残高縮減の目標達成に向けた、今後の財政運営について伺いたい。
- (3) 29年度の財政見通しを示した考え方について伺いたい。
- (4) 長期的な財政見通しの今後の財政運営への活用について伺いたい。

2 マイナス金利政策下での市債発行について

- (1) マイナス金利政策の概要について伺いたい。
 - (2) 28年度の市債発行額について伺いたい。
 - (3) 2月以降に発行された機関投資家向け市場公募地方債の発行状況について伺いたい。
 - (4) マイナス金利政策が継続する中で、市債発行にあたり留意すべき点について伺いたい。
- (要望) 市場動向を注視しながら安定的かつ有利な条件で、確実な市債発行を続けるよう要望する。

3 財政広報について

- (1) 現在行っている財政広報の取組について伺いたい。
- (2) 取組に関する工夫について伺いたい。

4 市税のペイジー口座振替受付サービスについて

- (1) 口座振替納税の利用推進に関するこれまでの主な取組と28年度の取組について伺いたい。
- (2) ペイジー口座振替受付サービスの概要について伺いたい。

(3) ペイジー収納との違いについて伺いたい。

(4) サービスを導入したときの効果について伺いたい。

(5) サービスの周知を今後どのように行っていくのかについて伺いたい。

(要望) 引き続き、納付しやすい環境整備に取り組み、市民サービスの向上に寄与するよう要望する。

1 市債残高と財政運営について

- (1) この10年間で一般会計の市債残高が約1,500億円増加した理由について伺いたい。
- (2) 市債活用の考え方について伺いたい。
- (3) 「一般会計が対応する借入金残高」に対する認識について伺いたい。
- (要望) 市債発行の縮減をしっかりと進めていただくよう要望する。

2 市税等の未収債権について

- (1) 26年度の市税のコンビニエンスストア納税、ペイジー収納の手数料、電話納付案内の費用について伺いたい。
- (2) 約1億4千万円のコストに対する効果について伺いたい。
- (3) 国民健康保険料徴収への財政局のこれまでの主な支援の取組と今後の協力体制について伺いたい。
- (4) 未収債権の目標値を350億円程度に設定すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 所管部署と連携しながら未収債権について積極的に取り組むよう要望する。

3 新公会計の推進について

- (1) 新公会計の推進に向けたこれまでの取組について伺いたい。
- (2) 現在の進捗状況と課題について伺いたい。
- (3) 推進のための28年度予算の内容について伺いたい。
- (4) 段階的に運用を開始する新公会計に関する事務の具体的な取組について伺いたい。
- (5) 開始時固定資産台帳の整備状況について伺いたい。
- (6) 固定資産台帳の整備における課題と対応について伺いたい。
- (7) 新公会計を庁内に浸透させるための取組について伺いたい。

(要望) 新公会計を浸透させるための地道な取り組みを要望する。

(8) 新公会計の予算編成への活用について伺いたい。